


～保護者の皆様へ～

 TEAM MINAMI 50 菁莪育才	第 35 号 山梨県立甲府南高等学校 第3学年（文責：崎田） 平成26年4月29日 発行
---	--

「菁莪育才」こそが私たちの願いです。

「よもぎの葉が勢いよく成長するように成長して欲しい」…そんな願いを込めて、第50期生との生活が始まり、…2年が経ちました。この間、学年では終始、「菁莪育才」の精神を以て生徒の指導に当たることを旨として参りましたが、登校日も残すところ161日となりました。

さて、我々が指針としてきた「菁莪育才」の言葉からイメージされる色は“緑”、我々の学年色も「緑」、本校のスクールカラーもこれまた「緑」…。第50期生には“緑”がよく似合います。

「緑」は平安時代に成立した言葉で、“瑞々しさ”を表す表現でした。英語の green も grass や grow と同じ語源だとされていますが、「緑(green)」には新しい生命の芽吹く様子が込められています。

本校創立半世紀の節目に入学した第50期生が、いよいよ本校の最高学年となった今年、「緑(green)」学年はきっと大きく伸びてくれる…、将来の「社会のリーダー」になるべき人材として成長してくれる…、そんな願いを託して、我々は「TEAM MINAMI 50」の旗印の下、保護者の皆様と第50期生276名とともに高校生活最後の階段をのぼります。

☆ TEAM MINAMI 50…我々の目指すものは…

4月末になりました。目前にゴールデンウィーク、間もなく県高校総合体育大会、そして、その向こうには第50回緑陽祭が控えています。日々流されてしまうと、「あっ」という間に夏休みです。

進路指導部では、4月16日(水)から第50期生一人一人が書いた「日めくりカレンダー」を本館2階廊下に貼りだしてくれました。大学入試センター試験までの「カウントダウン」です。カレンダーを見た生徒の中には少し焦りを覚えている生徒も現れ始めました。

「まだ」は「もう」、「もう」は「まだ」…以前、書いた覚えがありますが、焦りを感じる時にこそ、しっかりと両足を地に着けて地道に取り組んでほしいと願っています。(もちろん、この期に及んで「まだ」と高を括っている者については、少し焦れ…と言いたいところですが…。)

さて、14人の正副担任、そして私は、今年度がスタートした日から「いずれ来る巣立ちのとき」を今まで以上に見据えながら、日々を送っています。これからは全ての行事が「高校生活最後の〇〇」となります。否、高校生活は一度きりですので、全ては「人生最後の〇〇」と言っても過言ではあり

ません。だからこそ、7人の担任は「TEAM MINAMI 50」の合い言葉の下に、それぞれの思いを込めた「覚悟の言葉」を掲げました。

10年後・20年後…、目の前にいる生徒たちの人生を楽しみにしながら掲げた、担任のメッセージを受け止めていただければ、幸いです。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1組 (三間 裕之 先生) | 努力& Pride |
| 2組 (数野 優 先生) | 最終決戦 |
| 3組 (野澤 香穂 先生) | Grand Finale |
| 4組 (白田 晶人 先生) | 第一志望を掴む人格であれ |
| 5組 (堀内 通之 先生) | 本気の自分 |
| 6組 (久保田公博 先生) | 大団円 |
| 7組 (田野口垂矢 先生) | 飛翔 |

☆ 御存知ですか…「都市伝説」となったドラえもん最終回!!

ある日突然、ドラえもんが動かなくなった。ドラミちゃんを呼んで調べたところ、原因はバッテリー切れ。のび太はバッテリーを交換してもらおうとするが、ドラミちゃんから「バッテリーを交換するとドラえもんの記憶が消去される」ことを知らされる。ドラえもんなどの旧式ネコ型ロボットのバックアップ用記憶メモリーは耳に内蔵されているが、ドラえもんは耳を失っているため、バックアップがとれない。のび太は悩んだ末に、ドラえもんを押し入れにしまい込み、周囲の皆に「ドラえもんは未来の世界に帰った」と嘘をつく。…その後、のび太は猛勉強をしてトップクラスのロボット工学者に成長し、しずかちゃんと結婚する。そしてある日、のび太はしずかちゃんの目の前で、記憶メモリーを維持したままで修理を完了したドラえもんのスイッチを入れる。ドラえもんは「のび太くん、宿題終わったのかい?」と発して復活する。…

これは、『ドラえもん』ファンのある学生が、1990年代に「僕が勝手に考えたドラえもんの最終回(仮)」としてWebサイトで公開したものなのだそうです。『ドラえもん』には、連載雑誌等の都合で原作者の藤子・F・不二雄が描いた最終回は存在するものの、いずれもその続きがつくられているため未完作品です。原作者の意図を無視して、勝手なストーリーを構成した点で、このストーリーが原作者や読者を冒涇したという非難があることは否めません。因みに、このストーリーはその後、チェーンメールなどを通じて一人歩きし、心を痛めたこのストーリーの作者は、サイトを閉鎖したとのことです。根拠のない情報が簡単に公開され、流布するのは現代社会の(忌むべき)特性の一つでしょう。

ただ、このストーリーが流布するのには、それなりの意味もあったと感じます。

のび太が“猛勉強してトップクラスのロボット工学者に成長”したのはなぜでしょう。それは「いつの日か、ドラえもんと楽しい思い出を自らの手で復活させるため」だったのではないのでしょうか。人は夢を見る動物です。そして、その夢を叶える力を自らの手で持ち得る存在です。のび太が夢見た“ドラえもんと楽しい思い出を自らの手で復活させる”瞬間(人生の目標)が、276名の生徒にとって明確になれば、自ずと覚悟は定まるのだと常々考えています。まずは心揺さぶられる最初の一步。

☆ 5月の主な予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	7・8校時カット 行進練習 眼科検診	16	金	歯科検診(AM) ブロック集会 生徒集会(納め式・壮行会)
2	金	7校時カット 緑陽祭原案検討 行進練習	17	土	全統記述模試
3	土	●(憲法記念日)	19	月	公開授業週間(~23日) 奨学金説明会 試験時間割発表
4	日	●(みどりの日) 吹奏楽部定期演奏会	21	水	尿検査(一次)
5	月	●(こどもの日)	22	木	眼科検診
6	火	(振替休日)	23	金	5分短縮授業 防災避難訓練(1) 緑陽祭準備計画(LHR)
7	水	県高校総合体育大会(~9日) 大会会場清掃ボランティア	26	月	第1回定期試験(~28日)
8	木	特別授業(1~3校時、60分×3校時)	28	水	大掃除 前期植花作業
9	金	スタサポ結果報告会	29	木	火曜日の授業 就職公務員説明会 耳鼻科検診 PTA常任委員会
10	土	理社課外 拡大緑陽祭実行委員会	30	金	大学出張講義
12	月	生徒懇談機関(~16日)	31	土	進研マーク模試 駿台模試
14	水	木曜日の授業 緑陽祭要項配付・最終打合せ			

次回の学年通信(「菁莪育才」第36号)は、5月21日(水)に発行する予定です。

P T A 第3学年総会資料「年間行事」★は学年通信発行予定日です。是非、御一読ください。